

2016年度ボストン・チャレンジ・プログラム
第 2 次 募 集 要 綱

成長戦略研究センター

起業を目指す学生、また自らの研究で学際的、国際的広がりを目指す学生を対象として、米国ボストンに 1 ヶ月滞在し、ボストン市内・近郊にある大学、研究機関、国際機関、ベンチャー企業、ベンチャーキャピタルなどの企業訪問やイベントに参加することでグローバルな視野や考え方を身につけるためのチャレンジを支援するプログラムである。決まり切ったツアープログラムに参加することとは違い自らが企画して海外で新しいことにチャレンジするプログラムである。

1. 対象者

本学に在籍する学部学生、大学院生で英語によるコミュニケーション及び文章作成が可能な学生

2. 開催時期

実施期間は 2017 年 2 月の 1 ヶ月間で、途中参加や途中帰国は認めない。

2017 年 2 月 1 日から 2 月 28 日の 1 ヶ月間の渡米が可能なこと。

3. 参加者募集期間

2016 年 10 月 21 日(金) 午後 5 時まで

4. 応募方法

下記のメールに必要書類を添付して募集期間内に送付する

【応募先メール】 vbl@ynu.ac.jp

5. 問い合わせ先

成長戦略研究センター 教授 石塚辰美 内線 4289

Email tishiz2@ynu.ac.jp

6. 応募書類

①応募用紙に必要事項を記入する(現地でチャレンジする内容を提案する)

②英文履歴書

③TOEFL・TOEIC スコア等の英語能力を示す書類

④大学院生の場合は指導教員の確認が必要

7. 経済的支援

往復航空券代、滞在費として月あたり 15 万円程度の経済的支援を行う。

8. 募集数

4 名程度 (センター内で書類選考し、必要ならば面接をする)

9. 募集説明会

日時 2016 年 10 月 13 日(木) 12 時 15 分～12 時 45 分

中央図書館 メディアホール

10. 事前準備

採用された学生は、渡航までの期間を利用して、チャレンジテーマについて成長戦略研究センタ

一の教員と相談する機会を作る。参加学生による事前ミーティングに参加することとこちらで用意する現地でのプログラム(ワークショップ、報告会、交流会など)には必ず参加することを義務づけるが、基本は提案した内容にチャレンジすることである。

1 1. 計画書と報告

派遣が決まった学生は、事前準備の後にチャレンジテーマをもとに、「課題設定、ボストンでの課題探究の方法」を計画書として提出する。帰国後、自らが設定したチャレンジテーマにもとづく課題について、ボストンでの探索・探究の結果をまとめ、今後の自らの取組みにどのように反映させるかについて報告会をおこなう。

1 2. 予定している共通プログラムと参考データ

①バブソン大・山川教授によるアントレプレナーシップ講座(英語)

<https://babsonjp.wikispaces.com/Professor+Interview>

②CIC(Cambridge Innovation Center) のイベントへの参加

<http://cic.us>

③最後にワークショップ 成果報告と交流(英語)

予定している参加者としてボストン日本人研究者交流会、学生がお世話になった人

ボストン日本人研究者交流会 <http://www.boston-researchers.jp/wp/>

以上

応募用紙

応募日 年 月 日

1. 氏名・学籍番号
2. 英文表記氏名
3. 所属(学部/学府・専攻・決まっているならば指導教員名)
4. 学年
5. 連絡先(メール、電話)
6. 指導教員の確認

大学院生の場合は必ず指導教員に確認印を貰って下さい。

指導教員の確認印 _____ 研究院 _____ 職名 _____ 氏名 _____ 印

7. 提案内容 下記に1・2ページ程度で記入のこと

【提案:ボストンでチャレンジする事】